

なぜ“言葉”が“思考力”を高めるのか3 ーレヴィトン著『組織化された心』からー

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

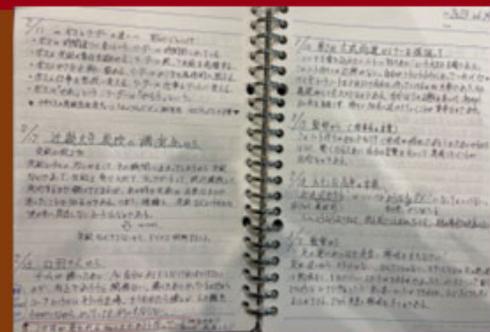
※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

No236

桐蔭横浜大学文部両道セミナーより

なぜ“言葉”が“思考力” を高めるのか1



溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

No237

桐蔭横浜大学文部両道セミナーより

なぜ“言葉”が“思考力”を高めるのか

Part2

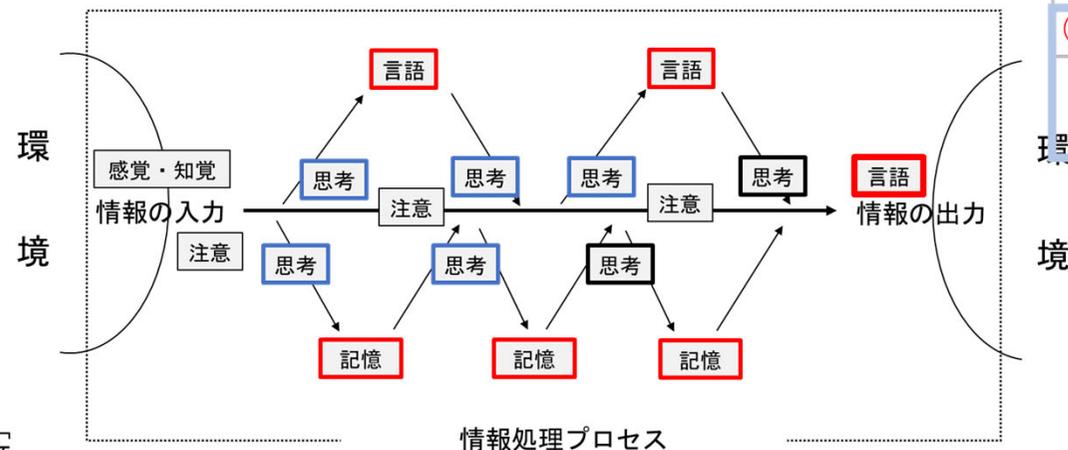
脳内メカニズムの観点から
感覚・知覚 / 内化・外化を説明する

溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

Get straight

「第2章 まっすぐするために何をするか」というタイトルの意味

思考 (thinking) とは、情報処理プロセスにおいて働く認知機能の1つであり、ある状態を作り出す働き、ないしはそれに向かうプロセスを指すものである

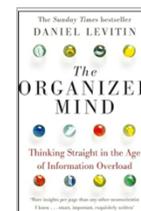


認知機能

- ① 感覚・知覚
- ② 記憶 (知識)
- ③ 思考
- ④ 言語
- ⑤ 注意

(とくに「選択的注意」)

文献 ・ 溝上慎一 (2023). インサイドアウト思考—創造的思考から個性的な学習・ライフの構築へ— 東信堂



Daniel J. Levitin (著) (2014). The Organized Mind: Thinking Straight in the Age of Information Overload. Penguin Books.

Part 1:

- ・ 1章 あまりにも多い情報と、甘利にも多い意思決定
— 認知的なオーバーロードの状況を歴史的に見る
- ・ 2章 まっすぐするために何をするか
— 注意と記憶をいかに働かせるか
attention memory



Part 2: 組織化された心の各側面

- ・ 3章 家庭
- ・ 4章 社会
- ・ 5章 時間
- ・ 6章 意思決定
- ・ 7章 仕事 ほか

D. レヴィトン (1957-) McGill Univ. (カナダ、ケベック州) の名誉教授
認知心理学、神経科学を専門。作家、音楽家、音楽のプロデューサー

No236 桐蔭横浜大学文部両道セミナーより

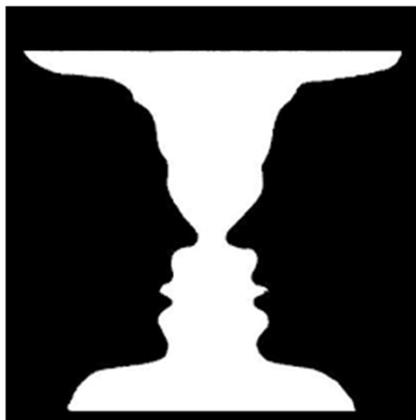
なぜ“言葉”が“思考力”を高めるのか1

溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

・・・の資料スライドです

- ・ 注意：選択的注意、セルフコントロール、自己制御機能 (実行機能)
- ・ 言語：記憶とカテゴリー化された言語

(おまけ) ものや事の認知は知識やエピソードなどの記憶
(知識) の想起なしには成立しない



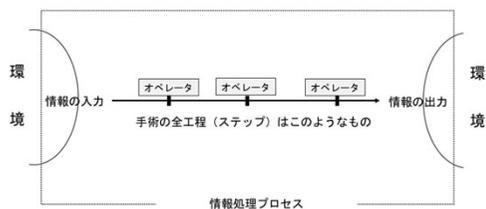
選択的注意

文
ルビンの杯

献 小谷津孝明 (2011). <こころ>で見る・知る・理解するー認知心理学入門ー 左右社

問題解決 problem solving

問題の状態と期待される解決の状態との間にズレがあり、
その二つの状態が一致することを旨とした思考



YouTube動画
「スーパードクター 大木隆」

「この手術は全部で〇手。難しい手術というのは、ステップが多いだけ。1つ1つほぐして
解決していけば、手術は成功する」

No236 桐蔭横浜大学文部両道セミナーより

なぜ“言葉”が“思考力”
を高めるのか1



溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

・・・の資料スライドです

- ・ 出口に向かって情報処理を進め、解を得て終わること
- ・ 問題解決 (思考) = 注意、知識 (言語・記憶)

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。
E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

